

令和5年度 シラバス

学年	教科	教材
1年	技術科	・教科書 新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍） ・副教材 技術・家庭ノート 技術分野（新学社）

1. 学習の目標

- ・ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。
- ・技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め，技術を適切に評価し活用する能力と態度を身につける。

2. 学習の方法

- ・自分の生活や身の回りのことに関心を持つ
- ・家庭ノートやワークシートを用い学習内容を整理しよう。
- ・学習を通して、生活に役立つ基礎的・基本的な技能を身につけよう。
- ・学習したことを自分の生活に当てはめ、より良くする方法を考えよう。また学んだことを実践しよう。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	提出物（ワークシート・ファイル・技術ノート）・定期考査・実技テスト
思考・判断・表現	実習・作品・レポート・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み（作品・実技テスト・定期テスト）・提出物（ワークシートなど）

4. 年間指導計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4	ガイダンス	・技術とは何か考える ・3年間での技術の学習内容を知る	・話し合いを通して、問題に対してどのように向かい合い生活をよりよくするために技術の進歩があったことへの関心を高める。 ・3年間で学ぶ材料と加工，エネルギー変換,生物育成,情報に関する技術についての見通しを持つ。
		・製品が誕生するまでの過程を知る。	・問題の解決するための技術には創意・工夫が大切だということを知る。
5	情報の技術 コンピュータと情報通信ネットワーク	・クロームブックのガイダンス	・技術科におけるクロームブックの使用のルールを知る。
6 7	材料と加工法	・材料の特徴	・身の回りにある製品を調べ，木材，金属，プラスチックの材料を使用しているものを分類する。 ・木材、金属、プラスチックの特徴を知る
9 10	木製のペン立ての製作	・共通課題の製作を通して基礎技能を習得する	・けがきを行える ・材料の切断を行える ・やすりがけを行える ・加工した材料の検査・修正を行える ・下穴開けを行える ・くぎ接合を行える ・表面処理を行える

11 12 1 2	材料と加工の技術	製作品の設計・製作	・製作品を丈夫にする方法	・製品を丈夫にするための方法について調べる。
			・製作に必要な図	・等角図、第三角法による正投影図の書き方を知る。
			・製作品の構想	・製作品の機能について、使用する場所や目的を明確にし、使いやすい形状や寸法などを検討する。 ・製作行程表を作成し、作業の見通しを持つ。
			・製作	・能率的な作業手順を考える。 ・材料の特徴に応じた加工法がある事を知る。 ・工具や機器の適切な使い方ができるようにする。 ・適切な修正を行えるようにする。
			・製作品の評価	・製作品の評価の観点を決め、その評価の観点に基づいて評価する。
3	材料と加工の技術の評価・活用	・持続可能な社会のための技術を考えよう	・木材利用と3Rなどの観点から環境にやさしいものづくりについて考える。 ・製品を購入する際に、評価の観点を持つ事の大切さを知る。	